

1. 兵庫県尼崎市において発生した列車事故について

○ 概要

- 1 発生日時(尼崎市消防局覚知時間)
平成17年4月25日(月)午前9時18分(9時22分)
- 2 発生場所
兵庫県尼崎市久々知3丁目27番40号先
- 3 発生状況
JR福知山線宝塚駅9:03発上り快速列車(7両編成)が脱線して、建物へ衝突

○ 被害状況

- 1 死者 107名
(男性59名、女性48名)
- 2 負傷者 460名
(男性149名、女性311名)

○ 緊急援助隊・県内応援隊活動状況

- 1 緊急援助隊
70隊250名(大阪府、京都府、岡山県)
- 2 県内隊
69隊258名 (尼崎隊106隊439名)

○ 消防庁の対応

- 1 4月25日9時40分
災害対策本部(第二次応急体制)を設置
- 2 10時40分
消防庁長官は、兵庫県知事の要請を受け大阪府、京都府、岡山県に緊急援助隊の出動を要請
- 3 消防庁長官を含め職員5名を現地へ派遣
情報収集活動、現地との調整及び指揮支援活動等を実施
(4月25日～4月28日)

○ 活動概要

- 1 4月25日9時22分尼崎消防本部119番覚知・活動開始
- 2 10時40分消防庁長官、兵庫県知事の要請を受け大阪府、京都府、岡山県に緊急援助隊の出動要請
- 3 尼崎消防局、消防隊及びドクターが到着後から、救助活動と平行して、トリアージを行う
- 4 救助現場では、事故車両からのガソリン臭が強く二次災害の危険防止に努めながら、救助活動を実施
- 5 28日15時55分、1両目の要救助者全員の救出を確認し、7時00分緊急援助隊に要請を解除
同日22時05分尼崎消防本部が最終引き揚げとなり、約80時間に及ぶ救出活動を終了

○ トリアージの実施

先着救急隊の救急救命士が現場においてトリアージを開始(救急車については同時に搬送活動を開始。)

その後、災害医療センター等の医師が現場に到着し、救急隊員と連携してトリアージ・応急処置を実施した。

○ 住民の活躍

短時間に多数の傷病者が発生し救急車が数多く必要となったが、阪神・淡路大震災の教訓が生かされ、地域住民による救助活動や民間のトラックなどを活用し傷病者を医療機関に搬送する等、住民の方の積極的な協力が得られた。

○ 今後の課題

現場はビルの1階部分に車両が食い込む形となり、作業を狭い空間で行わなくてはならないこと、また、1階の駐車場におかれていた自動車から漏れたガソリンが周囲に充満していることから、重機やエンジンカッター等の使用が制限されたことにより、救助に時間を要したが、今後、資機材のあり方等について検討のうえ対応することとしたい。



脱線状況

